

ドイツと日本、 どちらが**豊**かな **社会**なのか

外見が似ていれば中身も同じ？

私の最近の研究テーマは、企業行動の国際比較です。現在はドイツ企業と日本企業に焦点を絞って研究を進めています。ドイツと日本は敗戦国でありながら、戦後の目覚ましい経済成長を成し遂げた経済大国として、その経済構造や企業行動について世界から注目を集めてきました。そして2つの国には多くの共通する点があることも知られています。

たとえば両国では、自動車産業を中心として製造業が経済を牽引しています。メルセデスベンツ、BMW、フォルクスワーゲン、アウディなどの日本でも人気のあるドイ

和田 美憲

Yoshinori Wada

【研究テーマ】

企業行動の国際比較



ツ車は、ドイツ経済にとってまさに「エンジン」ともいえる存在です。日本では、トヨタ、日産、ホンダの製造する自動車の世界の市場で販売されているのはご存じのことでしょう。また勤勉な国民性や福祉の行き届いた比較的平等な社会も、日本とドイツに共通する特徴として挙げられています。

あるフランス人の学者は、ドイツ、フランスを中心とする大陸ヨーロッパの経済体制を、この地方を流れる河の名前にちなんで「ライン型資本主義」と呼び、日本の経済体制がドイツと似ていることから、日本もその「ライン型資本主義」に属すると主張しました。私はその主張を聞いた時、本当に日本の経済体制は「ライン型資本主義」に属するのか疑問を感じました。確かに上記のような共通点があるのは認められますが、「もっと根本的なところで両国の経済体制は違うのではないか」と感じたからです。それは、ドイツで生活したり、ドイツ人と議論したり、またドイツ人の同僚と職場にいる際に感じた「日本とドイツの違い」が頭にあったからだと思います。

その疑問が、ドイツと日本の経済を比較するきっかけとなりました。

日曜は店が閉まるドイツ

ドイツでは、日曜日と祝日は飲食店を除くスーパー、百貨店、小売店などの、いわゆる「お店」が基本的に閉まります。地域での違いや例外（たとえばパン屋さんや花屋さんは短縮営業）もあるのですが、日・祝日の消費活動は



法律で制限されています。この規制は徐々に緩和されてきていますが、「年中無休の24時間営業のお店」が許可されるまでには、まだまだ時間がかかりそうです。その一方で、日本ではコンビニエンスストアをはじめとする「年中無休24時間営業の店」が溢れています。そしてわれわれは24時間、いろいろな消費活動を行うことができます。

どちらが経済の発展には望ましいのでしょうか。多くの人は、自由に消費活動を行える日本の方が、先進的に思えるのではないのでしょうか。ではなぜ、ヨーロッパ最大の経済大国ドイツでは、日・祝日の消費活動は制限されているのでしょうか。その理由はもちろんたくさんあるのですが、主要な理由は、労働者の休む権利を保障するためといえるでしょう。

日本がドイツに学ぶべきこと

景気が回復した日本経済では、労働時間外に賃金の支払いなしで働くサービス残業の拡大、不安定で給与水準の低い非正社員の増大、そして過労死などの問題が顕在化しています。非正社員や過労死の増加が、「年中無休24時間営業」の拡大と無関係だとは思えません。景気回復の結果、本当に豊かな社会が日本で実現されたとはいえません。このような状況を考えると、日本経済の方がドイツ経済より先進的な経済体制であるとはいえないと私は考えています。

ドイツでは民営化が予定されているドイツ鉄道の運転手の労働組合が、労働時間の短縮と賃上げを求めてスト

ライキをした時の報道が、私には印象的でした。それは国民が、ストライキをしている運転手の行動に同情的で、ストライキは労働者の権利ということでほぼ納得していたということです。私などは、乗車予定の電車がキャンセルされたり、1時間も遅れる状況に怒りを隠せず、「なんて無責任な労働者だろう。自分の仕事を放棄し、利用者に迷惑をかけて、なんということだ!」と思っていました。これは私が、日本での行き届いたサービスに慣れていたこととも関係があると思いました。

私はドイツの経済体制が、あらゆる点において日本より優れていると言っているのではありません。日本の経済体制を客観的にとらえ、より望ましい経済体制にするための政策の立案に、ドイツと日本の経済体制の比較研究はさまざまな示唆を与えると考えているのです。もちろんドイツ経済にもさまざまな問題はあります。たとえば、EU 拡大に伴う産業の空洞化、労働移民の問題、労働者の高い賃金による国際競争力の低下などです。これらの問題を解決するためのヒントは、日本経済の経験や政策の中に見出される可能性があるのではないのでしょうか。私はそう信じています。ドイツ、日本だけに留まらず、全世界で豊かな生活を送ることのできる経済体制の成立の一助になればと思い、研究をしています。

